

第167号・1998年4月10日  
 公団王子五丁目団地自治会  
 東京都北区王子5丁目2番  
 編集責任者・松茂良興宏  
 発行責任者・滝沢 勝  
 自治会連絡所(集会所 No.1)  
 (電話) 3913-6723  
 [開設時間] 月～金 10時～16時

# 王子五丁目団地自治会会報

## いよいよ住み守る大事な年

### 1998年度(第22期)に自治会が取り組む課題(案)

住都公団改革の検討が「建設省行政改革住都公団改革準備室」ですすめられています。6月頃には住都公団改革案(新法人設立案)が発表される見込みです。

自治会は、よのよの住宅管理を要求し、すべての居住者が安心して住みつけられる団地にするために、積極的な取り組みをすすめていきます。災害対策・住環境向上・モラル問題などに、これまでの経験を活かして、入居20年を経て新たな視点からの検討を加えて居住者のみなさんにとりかえります。

#### 公団住宅を守りよりよい住宅管理を要求します

- 1、公団住宅の管理の民営化を許さず、居住者すべての居住の安定と権利を守ります。
- 2、住都公団を、中・低所得階層向け賃貸住宅供給を柱にまちづくりをすすめる、公的機関として改革するよう求めます。
- 3、借家人の居住権を大幅に弱める正当事由の廃止・「定期借家権」導入などの借家制度改悪に反対します。

#### 安全で住みやすい団地づくりのために

- 1、災害に対する取り組みをすすめます。
- ①阪神大震災を教訓として、王子五丁目団地の安全総点検を速やかに実施するよう公団に求めます。

- ②災害時の広域避難場所の指定団地としての認識を新たに、関係機関との連携を強めていきます。
- ③自治会の自主的な防災組織のいっそうの充実をはかり、日常的な防災意識の啓蒙をすすめます。
- ④災害時でも必要なら、自治会独自の防災マニュアルづくりをします。
- 2、居住環境の悪化を防ぎ、向上させるために公団に働きかけます。
- ①「総合的団地環境整備」事業が団地の住環境向上につながるよう求めます。
- ②団地内での交通体系(特に車庫通行)の改善、不法駐車や、不当な車両進入を防ぐための対策をすすめます。また、団地内の騒音対策を公団などの関係機関に働きかけよう求めます。

#### 地域社会の確立とゆたかな団地づくりのために

- 1、青少年問題をはじめ各世代を視野にいたれた活動をすすめます。
- ①19期から開催している「青少年問題を考える地域懇談会」をひきつぎ開催します。
- ②団地に居住するあらゆる世代の人を対象にした新たな取り組みを企画し開催します。
- 2、リサイクル活動を定着・発展させます。
- ①排出ゴミの減量運動をすすめます。
- ②「空きカン・ビン」のリサイクル体制を維持・発展させるべく、古紙、紙バック、不要放置自転車などの資源有効活用をすすめます。そのための団地内リサイクルシステムの確立を推進していきます。
- ③リサイクル活動に必要な環境・条件整備を公団や北区に働きかけます。

- 3、修繕問題に意欲的に取り組みます。
- ①公団の負担による修繕の拡大をひきつぎ求めます。
- ②共用部分の修繕の確実な実施と、共益費の適切な運用を求めます。
- ③畳・ふすま等の共同購入を実施します。
- 4、団地生活のモラル向上とルール確立の活動をすすめます。
- ①団地内の共用部分を大切にしようひきかけていきます。
- ②団地内や地下鉄駅前の放置自転車対策をすすめます。
- ③ゴミ置き場や、ゴミシュートの適切な使用と粗大ゴミ出しのルールを守るよう働きかけます。
- ④生活騒音への配慮や、水漏れ事故防止をひきかけることに、ベットの設置を含む集合住宅の基本的なマナー確立を働きかけていきます。
- ⑤夜間のバイク騒音、駐輪場での自転車・バイクへのいたずらや、放火などの対策をすすめます。
- ⑥団地内における交通事故や犯罪防止を、警察・公団などと協力してすすめます。

- 3、生活にうるおいをあたえる各種行事に取り組みます。
- ①第22回団地まつりを今年の夏も日開開催します。さらにファミリー運動会、フェスタ五五、新年会などの行事をおこないます。また、このほり上げ、こどもクリスマス会などの季節の取り組みをひきつぎおこなうことも、北区青少年王子地区委員会の各種行事にも構成団体として積極的に参加します。
- 参加者が少なくなっている行事は、内容等を検討し改善します。また、新たな行事の企画・立案を進め、多様な要求に応えるものにしていきます。
- ②自治会共済制度の維持、小学校新入学児童・新成人へのお祝い、桜美会(団地内の高齢者クラブ)活動に協力するべく、敬老会をおこないます。さらに団地内の高齢者の社会参加などについての活動をすすめます。
- ③灯油の共同購入、協定業者と提携しての引越しあわせなど利便供与の取り組みをひきつぎおこないます。
- 4、北区立郷土資料館閉館後の利用計画について取り組みます
- 北区飛鳥山郷土博物館の開設により、移転・閉館された郷土資料館跡地計画について、北区・北区教育委員会と話し合い、団地エリアの一部を仮わし計画で利用を要望していきます。
- 5、北区などの行政・公的機関の委託事務をおこない、居住者とのパイプの役割をすすめます。
- 6、渉外活動、関係団体との連携・協力をすすめます。
- ①住宅・都市整備公団、日本総合住宅生活(J.S.)、北区など系統的に話し合いをおこないます。
- ②全国公団住宅自治会協議会、東京都区公団住宅自治会協議会、王子出張所管内連合町会、王子および北区自治会連合会、王子防火協会、王子赤羽清掃協力会、北区社会福祉協議会、北区赤十字奉仕団王子分団などとの連携や活動を継続発展させます。
- ③他の公団団地自治会、近隣自治会・町会、北区青少年王子地区委員会、王子五丁目団地商店会、団地内のスポーツ・趣味のサークル、小・中学校とPTA、児童館、幼稚園、保育園、学童クラブ、近隣の病院や、公共的組織などとの連携・協力活動をすすめます。
- ④赤い羽根共同募金、歳末助け合い募金、献血など日赤奉仕活動に必要な協力をします。
- ⑤自治会推薦の「北区明るい選挙推進委員」、「王子保健衛生委員」を先頭に、明るい選挙推進活動、保健衛生活動に協力します。

#### 自治会活動の充実と発展のために

- 1、全ての居住者参加の自治会づくりをめざします。
- ①全居住者に対して入会の働きかけをひきつぎおこなっていきます。
- ②団地内の全ての店舗に「賛助会員」参加の働きかけをひきつぎおこなっていきます。
- 2、会員の期待と信頼にこたえる自治会活動をすすめます。
- ①役員会、運営委員会、各専門部、各常任・特別委員会、事務局の運営の強化をはかり、発展させます。
- ②会報の発行やポスターの掲出など広報活動をよりわかりやすく充実させます。
- ③自治会外団体として設立し、運営している「(有)王子コミュニケーションセンター」のよのよの活用を研究・検討し事業をすすめます。

# 1997年度 第21期 自治会が取り組んだ活動のまとめ

公団王子五丁目団地自治会は、1977年の設立以来「安全・安心・快適に住みつけられる団地づくり」のためにさまざまな取り組みをしてきました。今期は、自治会設立20年、また、入居開始から21年目を迎えるとともに、住宅都市整備公団の廃止という動きを受けて、新たな歩みを踏み出すときとなりました。この一年を振り返り、会員世帯のみならず、さまざまな運動や活動を課題別に報告します。

## 1、公団住宅を守り、住みよい安全な王子五丁目団地にするために

住宅都市整備公団の廃止にむけた動きがすすむなかで、「安心して住みつけられる公共住宅を守る」ために全国の自治会とともに署名運動などの取り組みをすすめてきました。

住宅都市整備公団の廃止にむけた動きがすすむなかで、「安心して住みつけられる公共住宅を守る」ために全国の自治会とともに署名運動などの取り組みをすすめてきました。

新法人の設立にともなう管理の民営化を回避するとともに、定期借家権制度の導入を求めました。

環境の維持・向上に関する諸課題では、居住者の立場に立った建設・整備を提案・要求し成果をあげました。

外壁修繕工事にむきつき雑排水管改修も6号棟が終わり、全て完了しました。総合的団地環境整備事業による屋外工事もその3が施工されています。また、計画修繕の一環としての、室内コンセント取り替えなども実施されました。23区の自治会とともに環境の維持改善のため公団東京支社や北営業所等との協議を重ねてきました。

住環境の維持・向上の取り組みは、関係機関への働きかけとともに、居住者一人ひとりの理解と協力が不可欠です。

自治会は、ゴミの分別収集、粗大ゴミの処理、放置自転車、駐輪方法、車両の団地内不法進入・駐車、エレベーター・外壁など共用部分へのいたすらなく、モラル問題について会報やポスターなどで啓発し、意識向上につとめてきました。また、エレベーター周辺における乗降者の出現などについても王子警察署と速やかに連絡を取り合

って注意をよびかけるなど対処しました。とくに団地内の自転車問題については、重点的に取り組みました。

号棟内放置自転車は、公団北営業所にも協力を求めて処分を実施しました。その台数は自転車2029台バイク110台に達し、処分費用の多くは共益費から支出せざるを得ないことになりました。

地下鉄王子神谷駅前の放置自転車については、地下鉄の路線が延伸されるたびにその数が増大、600台に達する状況となり、自治会では、東京都・北区・王子警察署・営団へその対策を求めていました。

近年、青少年の非行が戦後4番目のピークを迎えようとしています。多様化する社会状況を反映して、青少年を取りまく環境も複雑になっています。王子団地が、子どもたちのふるさととなり、生きいきとした学校生活がおくれるよう、桜田小・中学校との懇談会を開催し情報交換をおこないました。

リサイクル活動では、古紙・雑誌・古着・段ボールの分別回収(1997年度合計351トン)、空き缶・ビンのスラッシュ回収にむきつき取り組みました。しかし、古紙相場の下落によって回収業者の経営が困難になるなど厳しい状況もみられ、関係機関との話し合いでも、回収だけ

自治会は行政・公的機関の窓口として、さまざまな委託事務や広報活動をおこなっています。団地居住者と行政のパイプ役として自治会は大きな役割を果たしています。

## 2、地域社会の確立とゆたかな団地づくり

自治会は行政・公的機関の窓口として、さまざまな委託事務や広報活動をおこなっています。団地居住者と行政のパイプ役として自治会は大きな役割を果たしています。

## 3、団地生活になくてはならない自治会活動

地域のコミュニティ組織としての自治会の存在と活動が注目されています。安全で安心して住みつけられる王子五丁目団地づくりのためにも、会員世帯数の横ばい状況を脱し、全世帯の自治会加入を働きかけていくことが重要となっています。

自治会には、専門部体制を変更するなど役員体制を強化してきましたが、今期も役員が定数に満たないなかで、数多くの役員会や運営委員会の開催、専門部の会議等を開き、会員世帯に支援も求めつつ活動してきました。また、他の公団団地自治会や居住者と連携をはかるために、東京23区公団住宅自治会協議会、全国公団住宅自治会協議会(役員に副会長を派遣しています)の主要な構成自治会としても力を発揮してきました。

自治会共済(火災水漏れ見舞金制度)も継続維持しています。

民生委員、北区王子保健衛生委員、明るい選挙推進委員、王子防火協会、王子地区防災を考える会、王子地区防災協議会などの公的機関の委員推薦、また、赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金などの活動にも責任をもって対処してきました。

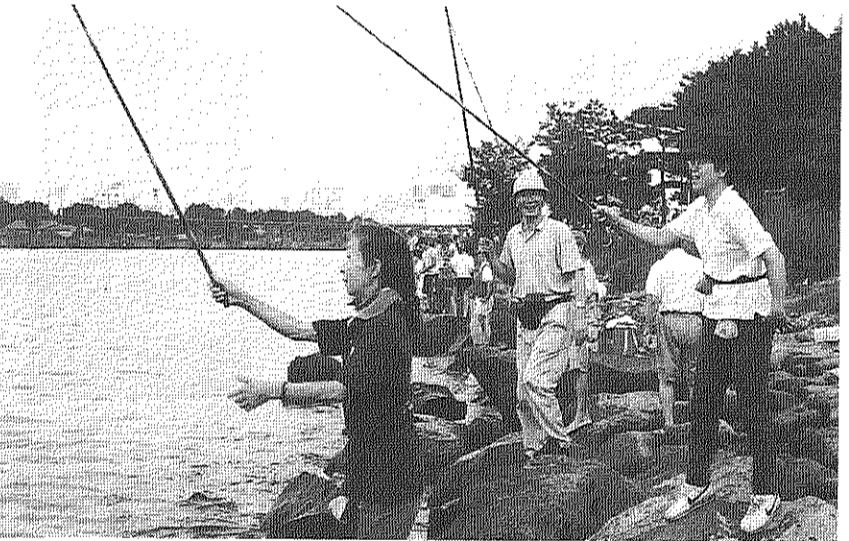
自治会活動の発展を志向し外郭団体として設立した(有)王子コミュニティセンターは、6年を経て、新たな展開を検討しつつタスマ前の自転車整備をはじめ、各種のあっせん等団地の環境の維持向上や会員の利便供与に関する事業をすすめてきました。



夏・大やぐらのもとで団地まつりは最高潮



冬・子どもクリスマスでは血まわしに拍手かっさい



秋・23区自治協主催のハゼつり大会に参加



秋・運動会では防災訓練リレーも

1997年度特別会計報告

自1997年4月1日  
至1998年3月31日

環境リサイクル特別会計

収	入	支	出
前期繰越金	2,733,293	業者等費用	1,130,720
古紙等回収報奨金	2,334,950	共用電話費用	48,482
カソ・ビン回収報奨金	232,900	備品等購入費	46,719
共用電話使用料	9,150	居住者還元	950,900
受取利息	1,480	活動費	39,323
		団地まつり特別会計補助	494,494
		次年度への繰越金	2,601,135
合計	5,311,773	合計	5,311,773

家賃問題特別会計

収	入	支	出
前期繰越金	92,991	印刷代	18,743
97統一行動カンパ	398,500	活動費	57,236
受取利息	82	交通費	1,580
		パンフレット代	57,825
		カンパ自治協納付金	278,600
		次年度への繰越金	77,589
合計	491,573	合計	491,573

灯油共同購入特別会計

収	入	支	出
前期繰越金	286,050	96年度払戻金	92,740
97年度灯油券代	804,820	灯油代金	699,100
受取利息	216		
		次年度への繰越金	299,246
合計	1,001,086	合計	1,001,086

区事務委託料特別会計

収	入	支	出
前期繰越金	802,654	研修会費	684,891
97年度事務委託料	1,343,400	一般会計補助	600,000
受取利息	462		
		次年度への繰越金	861,625
合計	2,146,516	合計	2,146,516

団地まつり特別会計

収	入	支	出
前期繰越金	0	やぐら・音響設備費	546,000
居住者寄付金	1,172,500	電気関係費用	259,712
直営模擬店売上	633,500	機材・備品費	251,485
外部模擬店出店料	904,182	盆踊り関係費	47,680
環境リサイクル特別会計補助	150,000	みこし・山車関係費	352,774
雑収入	494,494	直営模擬店仕入	778,238
	1,038	記念タオル代	321,300
		学生アルバイト代	75,000
		傷害保険料	64,500
		子ども行事費	12,925
		事務・通信・広報費	206,302
		渉外費用	246,417
		勝手場費用	161,743
		雑費	31,638
		次年度への繰越金	0
合計	3,355,714	合計	3,355,714

記念事業特別会計

収	入	支	出
前期繰越金	339,730		
一般会計引当金	100,000		
受取利息	762		
		次年度への繰越金	440,492
合計	440,492	合計	440,492

夏・子ども山車(だし)をひく親子の長い列(右) 2月・楽しかったバスハイクの参加者(下)



(有)王子コミュニティセンター

第7期営業報告書

自1997年3月1日  
至1998年2月29日

貸借対照表

資産の部		負債及び資本の部	
流動資産		流動負債	
現金	45,954	未払金	56,000
銀行預金(普)	1,047,655	納税充当金	107,300
銀行預金(定)	2,010,431	負債合計	163,300
未収金	70,000	資本の部	
		資本金	3,000,000
		当期末処理損失 (うち当期利益)	10,740 (3,936)
		資本合計	3,010,740
合計	3,174,040	合計	3,174,040

損益計算書

自1997年3月1日  
至1998年2月29日

科	目	金	額
営業	営業収益		3,237,795
	売上高	3,237,795	
	営業費用		3,144,294
営業	売上原価	2,732,186	
	一般管理費	412,108	
営業	営業利益		93,501
営業	営業外収益		7,135
	受取利息	7,135	
営業	貸倒引当金戻入		
	雑収入		
営業	営業外費用		
	支払利息		
経常	雑損失		
	経常利益		100,636
税引前	当期利益		100,636
法人	税等引当金		96,700
当期	利益		3,936
前期	繰越利益		6,804
当期末	処理利益		10,740

利益金処理

当期末処理利益	10,740
これを次の如く処分いたします	
次期繰越利益	10,740

# 1997年度決算報告

自 1997年 4月 1日  
至 1998年 3月 31日

# 1998年度予算案

自 1998年 4月 1日  
至 1999年 3月 31日

## 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
会 費 等 収 入	7,830,000	7,248,700	-581,300
会 費 収 入	7,200,000	6,649,500	-550,500
入 会 金 収 入	30,000	11,200	-18,800
賛 助 会 費	600,000	588,000	-12,000
区 助 成 金 等	453,000	453,000	0
区事務委託料特別会計繰入	500,000	600,000	100,000
事務機器等使用料	420,000	426,701	6,701
雑 収 入	200,000	230,587	30,587
前 年 度 繰 越 金	83,361	83,361	0
合 計	9,486,361	9,042,349	-444,012

## 収入の部

科 目	予 算 額
会 費 等 収 入	7,830,000
会 費 収 入	7,200,000
入 会 金 収 入	30,000
賛 助 会 費	600,000
区 助 成 金 等	453,000
区事務委託料特別会計繰入	600,000
事務機器等使用料	430,000
雑 収 入	250,000
前 年 度 繰 越 金	166,542
合 計	9,729,542

## 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
自 治 会 活 動 費	1,400,000	1,380,101	-19,899
活 動 費	800,000	627,933	-172,067
通 信 費	100,000	172,605	72,605
交 通 費	150,000	169,130	19,130
慶 弔 費	200,000	294,500	94,500
会 議 費	150,000	115,933	-34,067
広 報 費	800,000	314,785	-485,215
行 事 費	850,000	880,773	30,773
運 動 会 費	250,000	238,725	-11,275
敬 老 会 費	250,000	225,599	-24,401
そ の 他 行 事 費	350,000	416,449	66,449
共 済 費	350,000	315,768	-34,232
事 務 局 活 動 費	3,269,000	3,317,130	48,130
事 務 局 員 活 動 費	2,769,000	2,769,000	0
配 布 料	500,000	548,130	48,130
運 営 費	1,400,000	1,442,750	42,750
事 務 所 経 費	450,000	418,450	-31,550
消 耗 品 雑 費	500,000	449,554	-50,446
備 品 購 入 費	150,000	287,994	137,994
備 品 リース費	300,000	286,752	-13,248
分 担 金	582,000	575,500	-6,500
公 団 自 治 協	480,000	480,000	0
連 合 町 会	66,000	59,500	-6,500
防 火 協 会	25,000	25,000	0
清 掃 協 力 会	11,000	11,000	0
記念事業特別会計引当金	100,000	100,000	0
事務所確立積立引当金	360,000	360,000	0
慰労金積立引当金	189,000	189,000	0
予 備 費	186,361	0	0
合 計	9,486,361	8,875,807	-424,193
次 年 度 へ の 繰 越 金		166,542	0
総 合 計	9,486,361	9,042,349	-424,193

## 支出の部

科 目	予 算 額
自 治 会 活 動 費	1,450,000
活 動 費	700,000
通 信 費	150,000
交 通 費	200,000
慶 弔 費	300,000
会 議 費	100,000
広 報 費	600,000
行 事 費	1,000,000
運 動 会 費	250,000
敬 老 会 費	250,000
そ の 他 行 事 費	500,000
共 済 費	350,000
事 務 局 活 動 費	3,342,000
事 務 局 員 活 動 費	2,842,000
配 布 料	500,000
運 営 費	1,350,000
事 務 所 経 費	450,000
消 耗 品 雑 費	450,000
備 品 購 入 費	150,000
備 品 リース費	300,000
分 担 金	582,000
公 団 自 治 協	480,000
連 合 町 会	66,000
防 火 協 会	25,000
清 掃 協 力 会	11,000
記念事業特別会計引当金	100,000
事務所確立積立引当金	360,000
慰労金積立引当金	194,000
予 備 費	301,542
合 計	9,729,542

## 会計監査報告書

公団王子五丁目団地自治会の1997年度会計監査を4月4日夜、自治会事務所で実施しました。貸借対照表および決算書の正確性、資産の監理状況、業務処理状況について詳細に監査したところ、いずれも的確に処理されていることを確認しました。

- 照合資料
1. 金銭出納帳および預金通帳
  2. 収支伝票および付属証票
  3. 科目別勘定台帳
  4. 会費納入台帳

1998年4月4日 会計監査委員 小野寺 千恵子 ㊟  
" 井上 和子 ㊟

## 合同貸借対照表

自1997年4月1日  
至1998年3月31日

資産の部	金 額	繰越金及び負債	金 額
現 金	80,793	一 般 会 計	166,542
普 通 預 金	4,436,059	環境リサイクル特別会計	2,601,135
定 額 郵 便 貯 金	1,160,892	家賃問題特別会計	77,589
		灯油共同購入特別会計	299,246
		区事務委託料特別会計	861,625
		団地まつり特別会計	0
		私道防犯灯補助金	0
		記念事業特別会計	440,492
		事務所確立引当金	720,400
		慰労金引当金	510,715
合 計	5,677,744	合 計	5,677,744

(注1) 私道防犯灯補助金繰越金は、1997年度に北区から受け入れる予定でしたが、決算日までに入金がありませんでした  
(注2) 1991年度、1995年度に支出した外郭団体(有)王子コミュニティセンター資本金3,000,000円は、自治会より貸付金として次年度に引き継ぎます。